



2026 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名 日 機 装 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 加 藤 孝 一
(コード番号 6376 東証プライム)
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 コーポレート部門長 村 上 雅 治
(TEL. 03-3443-3717)

2026 年 12 月期中間期業績予想と実績値との差異 および通期業績予想の修正に関するお知らせ

2026 年 2 月 13 日に公表いたしました 2026 年 12 月期中間期（2026 年 1 月 1 日～2026 年 6 月 30 日）の業績予想と本日公表の実績値との差異、および 2026 年 12 月期通期（2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日）の業績予想の修正について、下記のとおりお知らせします。

記

1. 2026 年 12 月期中間期の業績予想と実績値との差異

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する中間利益	基本的 1 株当たり 中間利益
前回発表予想 (A)	百万円 116,300	百万円 5,900	百万円 6,000	百万円 4,800	円 銭 73.55
今回実績値 (B)	118,415	9,022	10,396	8,257	126.44
増減額 (B-A)	+2,115	+3,122	+4,396	+3,457	
増減率 (%)	+1.8%	+52.9%	+73.3%	+72.0%	
(ご参考) 前期中間期実績 (2025 年 12 月期中間期)	100,317	5,867	4,845	4,929	74.39

2. 2026 年 12 月期通期の業績予想の修正

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的 1 株当たり 当期利益
前回発表予想 (A)	百万円 233,500	百万円 16,500	百万円 16,500	百万円 13,000	円 銭 199.19
今回修正予想 (B)	247,700	19,700	20,000	15,800	241.93
増減額 (B-A)	+14,200	+3,200	+3,500	+2,800	
増減率 (%)	+6.1%	+19.4%	+21.2%	+21.5%	
(ご参考) 前期実績 (2025 年 12 月期)	215,642	15,331	17,255	13,652	206.22

3. 2026 年 12 月期中間期における業績予想と実績値との差異の理由

中東情勢の緊迫化など先行き不透明な事業環境が続くなかにおいても、当中間期の事業活動は概ね当初計画に沿って推移しました。加えて、為替の円安進行等の影響により、業績は当初計画を大幅に上回りました。

為替影響を除くベースでは、インダストリアル事業の CE&IG グループにおいてサービス関連事業の売上収益が当初計画を下回ったことや、航空宇宙事業で一部出荷が下期へずれたこともあり、売上収益全体では当初計画を下回りましたが、営業利益面では、各事業における販管費の抑制や発生時期の後ろ倒し等もあり当初計画を上回る結果となりました。

また、円安の進行に伴う為替差益の増加により税引前中間利益および親会社の所有者に帰属する中間利益も当初計画を上回りました。

4. 2026 年 12 月期通期業績予想の修正の理由

各事業を取り巻く環境は概ね当初想定どおりに推移しており、当下半期以降も堅調な事業運営が継続するものと見込んでいます。

インダストリアル事業では、LNG 分野を中心とした設備投資需要が引き続き堅調に推移する見通しです。また、航空宇宙事業では、航空機メーカーの増産計画を背景として旺盛な需要が継続する見通しです。メディカル血液透析事業については、日本市場における需要減少の影響があるものの、欧州を中心とした海外市場での需要拡大がこれを補い、全体として底堅く推移する見通しです。

中東情勢の緊迫化や原材料・部材価格の高騰など、不透明要因は残るものの、各事業への影響は限定的と見ており、販売価格適正化等の取り組みにより、営業利益への影響も軽微にとどまる見通しですが、当中間期での業績進捗をベースに、当下半期では不確実性や将来リスクに備えたコストも一定程度見込んでいます。

加えて、過年度に実施した事業再編に関連し、一過性の営業利益約 20 億円規模の発生を見込んでおり（調整額（全社費用等）に計上予定）、今回の通期業績予想修正の主要因の一つとなっています。

これらの事業動向に加え、足元の為替動向を踏まえ、2026 年 12 月期通期の売上収益および営業利益予想を上方修正します。前提となる期中平均レートは、米ドルを 145 円から 157 円に、ユーロを 170 円から 184 円に見直します。

また、税引前利益および親会社の所有者に帰属する当期利益については、中間期における為替差益の実績を踏まえて上方修正します。

なお、今回の通期業績予想の上方修正に伴い、配当予想も修正します。詳細は、「剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正（ともに増配）に関するお知らせ」を参照ください。

※本業績の修正については、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる可能性があります。

(参考)

セグメント別業績の見通し

(億円)	2025年12月期 実績	2026 年 12 月期 (予想)		前期比 増減額	2/13予想比 増減額
		2/13 発表	今回発表		
受注高	2,314	2,455	2,639	+324	+184
工業部門	1,531	1,650	1,814	+282	+164
インダストリアル事業	1,332	1,400	1,544	+211	+144
航空宇宙事業	195	250	269	+73	+19
医療部門	785	805	825	+39	+20
売上収益	2,156	2,335	2,477	+320	+142
工業部門	1,369	1,530	1,652	+282	+122
インダストリアル事業	1,170	1,280	1,380	+209	+100
航空宇宙事業	195	250	270	+74	+20
医療部門	788	805	825	+36	+20
セグメント利益	153	165	197	+43	+32
工業部門	135	149	158	+22	+9
インダストリアル事業	128	130	130	+1	-
航空宇宙事業	9	20	30	+20	+10
医療部門	60	60	61	+0	+1
調整額 (全社費用等)	△44	△44	△23	+21	+21
税引前利益	172	165	200	+27	+35
親会社の所有者に帰属する当期利益	136	130	158	+21	+28

※ 工業部門合計欄には、深紫外線 LED 事業の金額が含まれています。

※ セグメントごとの各金額欄には、内部取引控除前の金額を表示しています。

※ 記載金額は億円未満を切り捨てて表示

以上